

2014年

業界・組合リーダーの 年頭所感



新年を迎え、各業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様、業界の現状、新年の展望等について、寄稿していただきました。
(順不同・敬称略)

製造業

群馬県コンクリートブロック

事業協同組合

理事長 町田 錦一郎

新年明けましておめでとつ御座います。

旧年中は格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで群馬県コンクリートブロック事業協同組合は今年で六十周年を迎える事が出来ました。

当組合は1955年8月23日前橋市石川町(現・大手町)で設立され、以降幾多の苦悩と危機を乗り越え、現在の前橋市元総社町にブロック会館を建設し、少数ではありますが組合員一致結束し運営に当たり現在に至っております。この間多くの組合員及び関係者の方々には多大なる支援とご協力を賜りました事に深く感謝申し上げます。

本年も会員の皆様のご協力を得ながら未来発展の為、事業に邁進させて頂きたくご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 吉田 勝彦

1 業界の現状・問題点及び新年の展望

安倍政権誕生後、アベノミクス推進による円安の誘導は、輸出関連企業を中心とした大企業の収益を大きく改善し、景況感としては、全体的になんとなく景気が良くなつたかのような気がしておりますが、モノ作りを中心とした中小企業はその恩恵を受けるのはしばらく時間がかかりそうな気がします。

4月から消費税が8%になることも今後の景気回復の足かせになるかもしれませんが、決して楽観視できない状況に変わりはありません。

2 中小企業の活性化に必要な施策

現状、大企業、建築関係企業に關しては仕事量は十二分にあるようですが、モノ作りを中心とした製造業の仕事量は決して芳しくありません。国策として有効需要を作り出す新しい政策を早急に立案実行していただきたいと思っております。



3 特筆する組合事業

昭和45年から毎年行われている伊勢奉賛会（伊勢参り）があり、組合員企業の商売繁盛・家内安全・健康祈願を毎年2月の最初の週にお参りし組合員の団結力、結束力を深めています。また、前橋商工会議所とも共催で前橋ビジネススクール（経営セミナー）を行い、会員企業並びに一般企業の方の研鑽に努めております。

桐生織物協同組合

理事長 後藤 隆造

昨年の日本の経済は、新政権が発足し、期待の膨らむ中でのスタートでありました。我々繊維業界はその波及効果が少ない中ではありますが、一部には産地展来場者数の増加や「呉服市場に下げ止まり感が出てきた」との話を聞く場面もありました。しかし、全体的には「成長戦略」の恩恵を感じることはない一年でありました。

このような産地状況の中ではありますが、本年は「織都桐生千三百年」の節目の年を迎え、関係皆様のご支援をいただきながら

記念事業の実施を計画させていただいております。これを機に、産地を内外に更にPRし活性化の一助とするとともに、一昨年「織物の街桐生」の拠点となるべく桐生織物記念館にオープンした「織物資料展示室」の有効的な運営と活用を図っていきたいと考えております。

本年も伝統と歴史が証明する産地の技術を十分に発揮させ、ものづくりの基本となる魅力ある織物を開発すると共に、これらの需要開拓を積極的に展開し、組合員企業の繁栄のため鋭意努力いたして参りたいと存じますので、関係皆様には、より一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

太田機械金属工業協同組合

理事長 坂本 正堂

輝かしい新年を迎え心よりお喜び申し上げます。

さて昨年は、欧州の金融市場も落ち着きを見せはじめ、アメリカ力を初めとする先進国経済も緩やかな回復が見られた中、我が国においては、アベノミクスに対する好景気感により、株価上昇、円安へ

と日本経済は立ち直りを見せ、大企業を中心とした製造業においても、生産性、収益性共に好転が示されました。そうした中、当太田

地域においても、基幹産業である富士重工業を中心に堅調な動きが見られましたが、我々中小組合企業におきましては、終わらない販売価格の低下、新興国との価格競争、国内企業の空洞化の加速、原材料の高騰、電力エネルギー問題等と好景気感を感じられないのが現状であります。組合としましては、長い間に蓄積された人材・技術の集積地としての基盤を生かし、組合企業の体質強化に繋がる情報発信媒体として取り組んで行く所存です。

関係各機関にはよろしくご指導お願い申し上げます。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 小林 美知夫

新年明けましておめでとございます。

我々、生コンクリート業界は公共工事・民間工事の建設等、豊かな国土建設の基礎資材を製造、供

給する産業であり、地域社会の発展に欠くことのできない産業としての社会的使命の達成に努めているところ です。

新年に当たり、需要拡大事業として、「コンクリート舗装」を進めてまいります。コンクリート舗装は耐久性に優れ、維持管理費の面でも軽減が見込まれ、業界として強力に推進し需要拡大に取り組みてまいります。さらに顧客のニーズに応えるため、品質管理を徹底し、良い生コンクリートを提供するために取り組んでまいります。終わりに、皆様様のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。

群馬デリカ食品協同組合

理事長 江原 寛一

新年明けましておめでとございます。

昨年は、アベノミクスで株高、高価格商品等が売れ、さらにオンラインピック招致も決まり景気に明るさが出てまいりました。我々食品製造業は円安により原料単価、物流コスト等が値上がりした上に、競争激化であまり喜ばない年でし

た。今年は円安が進み、さらには消費税が上がり厳しい年になりそうです。原料、人件費が値上がりし、価格交渉を行ってはおりませんが、最近では物流商流が複雑になり、なかなか進まないのが現状です。我々組合もなお一層の情報交換、共同仕入を密に連帯を強めてコミュニケーションを図りながらお客様のニーズに応えられるよう努めていく所存です。

何卒変わらぬご指導ご厚誼のほどをお願い申し上げます。

伊勢崎織物協同組合

理事長 田村直之

新年明けましておめでとうございます。

昨年は円安による原料高や電気料金の値上げなどにより、依然厳しい状況が続いております。近年「きもの」に対する消費者の関心は高まりつつありますが、産地を取り巻く需要環境は依然厳しいものがあります。こうした中、産地伝統の技術、技法を生かした消費者やマーケットの変化に対応する新商品の研究開発、新分野の進出

等に取り組んでおります。

当組合としましては、産地活性化のため伝統的工芸品「伊勢崎紜」「伊勢崎銘仙」を始め産地商品の各種販売会、展示商談会、一般消費者を対象とした「伊勢崎紜手織体験教室」を開催し、和装に対して理解と愛着を深める機会として実施しております。さらに歴史と伝統ある技術、技法を継承するため後継者の育成にも努めてまいりますので、今後とも関係各位のご理解ある格段のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 星野陽司

我が国経済は、政府の政策転換等からデフレ脱却に向けて、円高の是正を始め各施策が展開されておりですが、その結果、輸入原料の高騰を招き、輸入食品を中心に多くの食品が値上げされたことから、消費者への負担は大きく、個人消費は依然として厳しいものがあります。

このような中、我々麺業界も販売量が低迷しており、主原料の小

麦粉価格は、一昨年来3期連続で値上がりし、副資材や電気・重油などのエネルギー価格の高騰等もあつて大きな負担となっております。さらに食品の表示や衛生管理等の対応が高いレベルで要求されるなど、個々の企業負担は益々増大しており、厳しい局面に直面しています。

また、本年は4月に消費税率の引き上げが実施されること等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況下ではありますが、消費者が求める「安全・安心と美味しさ」を追求し、国民の主食の一端を担う業界として、美味しく、安全で価値のある製品を提供していくことが、私たちの基本理念であります。

昨年は組合のホームページを活用し、一般消費者に組合員の麺を毎月プレゼントする企画を実施（毎月4000名以上のアクセスをいただいております）するとともに、週刊誌「週刊文春」に「美味しい上州のうどん」の広告を掲載するなど群馬県のうどんの美味しさを多くの生活者にアピール致しました。

本年も昨年につき、ぐんまの郷土料理の「おつ切り込み」と「ひもかわうどん」を積極的に宣伝し、麺食を通しての家庭づくりや人々のコミュニケーションづくりなど、生活者の食の豊かさや麺を通じた食文化の向上に努めてまいります。

群馬県鍍金工業組合

理事長 武藤澄雄

新春を迎えて皆様にはいかががお過ごしでしょうか。一段と身の引き締まる思いを感じるところです。

1年前の政権交代により、日本経済の停滞を振り払うような政策が打ち出されておりますが、中小企業の運営には、円安による輸入原材料及びエネルギーコストの上昇が、当鍍金工業組合の会員企業に重くのしかかり、その中で環境規制の強化もクリアしなければいけないという状態です。

本年は、午年になり景気の流れも馬の背を分かたつがごとく、二極化が顕著になり、特に生産拠点の海外進出に歯止めがかかっています。時計で正午になれば長短針の針は一緒に上を目指すよう

に群「馬」の中小企業が当県を基軸として日本の産業を牽引してい

非製造業



群馬県高圧容器整備協同組合

理事長 遠藤 祐司

謹んで新年のお慶び申し上げます。

新政権が発足して1年が経過し、今後は金融政策、財政政策、成長戦略等の経済対策の動きを背景に経済活動が活発化しつつありますが、より一層幅の広がり経済活動が活発化することを期待しております。

グローバル化によって大きく変わる国際情勢の中で、過去の実績、前年の経営数値等さえあてにならない不透明化の中で、2020年の東京オリンピックの決定は何かホッとした気持ちになります。

当業界も規制緩和の影響、供給構造の変革により厳しい状況で推移しておりますが、更なるコスト削減に徹し、今までに築き上げた知識、技術力で安定した財政基盤を確立すべく邁進しております。

くことを願う次第です。

また、災害時に機動力を発揮できるクリーンなエネルギーを扱うLPガス業界に貢献すべく、保安の確保を最重要課題として努力して参ります。

今後とも皆様方のご支援と関係機関各位のご指導を賜りたく宜しく、お願い申し上げます。

群馬県柔道整復師協同組合

理事長 櫻井 弘

あけましておめでとうございませう。旧年中は格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。本年もよろしくご指導、ご支援の程をお願い申し上げます。

昨年は、第65回中小企業団体全国大会において「優良組合」として表彰の栄に浴することが出来ました。これも偏に、群馬県中央会と関係各位のご支援の賜と心から感謝申し上げます。

さて、私どもの業界は、規制緩和

を受けて、柔道整復師の急激な増加により、組合員一人ひとりの収入は落ち込んでおります。このことを受けて、若い組合員の将来の道筋を開くべく各種技術の講習会等を計画するとともに、併せて、「組合青年部」の結成を目指したいと計画しております。

何卒、関係各位におかれましては、よろしくご指導、ご支援のほどをお願い申し上げます。

群馬県火災共済協同組合

理事長 田部井 俊勝

新年明けましておめでとうございませう。

群馬県中小企業団体中央会会員企業の皆様には、爽やかな初春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。平素、当組合の共済事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の日本経済はアベノミクスのプラス効果が実態経済に徐々に波及して、大企業を中心に景気の回復傾向が持続しておりますが、中小企業にとりましては、未だ好景気を実感できる状況には

至っておりません。

当組合におきましても、大変厳しい事業環境でしたが、お陰様で何とか新年を迎えることができました。

これも偏に皆様のご支援ご協力の賜であり、この場をお借りして衷心より感謝申し上げます。

本年は、10月に予定しております群馬県火災共済協同組合と群馬県商工共済協同組合の合併を契機に新「ぐんま共済協同組合」として、更にご満足いただける共済事業の充実強化を図り、より一層のお客様サービスの向上に努めてまいりますので、何卒倍旧のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様にとりまして素晴らしい躍進の年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 武井 宏

昨年は安倍内閣によるアベノミクス効果により、円安・株高に推移し、大企業を中心に最高益を記録するなど、デフレ脱却に向けて

国内経済も景気回復が見られましたが、中小企業にはまだまだ実感が得られない状況です。

運輸業界では中東情勢の不安定化・円安による輸入コストの増大等により燃料価格が高騰を続けており、また、免許制度により若年層を中心として、大型免許の取得率が低下し運転手不足が不安視されるなど、大変厳しい経営環境が続いているなかで新年を迎えました。

今年は4月から消費税率アップが決定しており、その前後での輸送の混乱・経営に与える影響等厳しい状況が考えられるなか、当組合は組合員のための共同事業を通じて、組合の役割・機能を最大限活用して、組合員企業の経営基盤強化、並びに経営の安定に寄与するため各共同事業を積極的に進め、組合員のための組合づくりに取り組んでまいります。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県電機商業組合

理事長 濱川 祐作

テレビビジネスの不振の反面、

創工ネ、蓄工ネ、省工ネへの関心の高まりは、我々に大きなチャンスをもたらしています。太陽光発電システムやリフォーム需要などは、まさに地域電機店の経営に大きくプラスしています。

ますます進む少子高齢化社会に対しても需要の減少という捉え方ではなく、高齢者は景気の影響を受けにくい需要者であり、量販店では満足せず、地域電機店の面倒見を期待しています。また、これらに合わせた提案商品も沢山出ています。

つまり、時には角度を変えて商売を見直し、時代の変化に対応していくことが必要ではないだろうか。

我々地域電機店は地域に密着し、地域のお客様に信頼され、細かいニーズに対応できる店となることが必要であります。そして色々なことを提案し、それを商売につなげていくことが肝要であります。

本年も組合員一丸となつて頑張ります。



群馬県印刷工業組合

理事長 吉田 吉太郎

新しい年を迎えお慶びを申し上げます。ご承知の通り各界における原材料値上げ課題は私達印刷業界にとつても深刻な課題となっております。もともと私達業態は様々な変革・変化によつて構造的な激変期にあります。この10年は業態変革期」として企業の大小を問わず経営改善が求められてきました。従つて対応する様々な組合事業を全国組織を背景にして適合事業を実施してきました。

私達の目指す道標は百社百様の各企業がどんなイノベーションをイメージし、どんなコアを創造し新業態をつくるか、現在では「印刷業だからこそ色々なメディアが扱える」と道標が定まりつつあります。

新年にあたり全国組織を背景に様々な成功例を研究・情報交流を活性化して組合員有益年にしたいと念願しています。

群馬県旅館ホテル

生活衛生同業組合

理事長 市川 捷次

輝かしい新年を皆様とともにお慶び申し上げます。

あわせて平素のご指導ご愛顧に衷心より感謝いたします。

旅館・ホテル業界は、現在3つの大きな問題を抱えております。第一に、耐震改修法の問題、第二に本年4月から始まる消費税の外税方式、そして三番目に固定資産評価の見直しです。どれも旅館・ホテル経営の根幹に関わる問題であり、対応を誤ると死活問題になりかねませんので、組合を挙げて取り組んでいきたいと考えております。

当組合では、日頃から安全・安心な業界づくりに取り組んでいるところであり、全国に誇れる「温かいおもてなし」でさらなる群馬県のイメージアップに努めていきたいと思っております。

本年も皆様のご指導ご愛顧を心よりお願い申し上げます。

一般社団法人群馬県信用組合協会

会長 松井 誠

東日本大震災の復興と日本経済の再生を掲げて発足した新政権は、「二本の矢」に取組み、その結果、景気は緩やかながら回復基調にあると言われておりますが、中小企業や個人事業主までに回復感には伝わってきておりません。さらに、燃料や原材料等の高騰に加えて、消費税率引き上げを控えて、私も取り巻く環境は依然として厳しいと言わざるを得ません。

そのような中で、私も信用組合は地域密着型金融の重要な担い手として、地域経済の根幹をなす中小事業者の皆様と手を携えて荒波を乗り越えるべく、県内3組合の総合力を発揮し、皆様のお役に立てられるよう努力してまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

高崎卸商社街協同組合

理事長 松本 修平

新春を迎え、謹んでご挨拶を申

し上げます。

県内の経済は明るい兆しも見え始めておりますが、TPP参加や消費税増税など不安材料も多々あります。

依然、厳しい経済状況ではありますが、当組合では、群馬県や高崎市また関係機関のご助力を賜り、本年一月にいよいよ新展示ホールが完成いたします。

昭和42年の団地完成以来、問屋街のシンボルとして親しまれてきた展示会館が、安全で使いやすい新展示ホールに生まれ変わります。そして、お披露目を兼ねた完成記念イベントとして、新展示ホールにおいて1月25日・26日の両日に「上州どっと楽市」を開催いたします。今後も県内経済の活性化に寄与すべく努力していく所存でございますので、例年同様皆様のお力添えと変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

群馬県管工設備協同組合

理事長 串田 紀之

新年明けましておめでとございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

上げます。

安倍首相の打出す政策がアベノミクスとして動き始め、オリンピック招致が2020年に東京開催に決まり、景気も上昇モードに一変するかの兆しが見えています。

しかし反面、建設資材の高騰や技術者不足による労務単価の高騰など良いことばかりではありません。流れの早い状況下において時代の変化を捉え、組合運営においても大きく舵を取らなければならぬと思います。

当組合は新たな取り組みで新交流会として、昨年12月9日に高崎市の松本泰夫副市長から『高崎市都市計画によるまちづくり』のご講演をいただきました。それぞれの立場から大変参考になったのではないかと感じております。組合員の皆様に今後も積極的な情報提供をしていく所存でございます。

群馬県電気工事工業組合

理事長 関口 慶也

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお

慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、秋には消費税増税の決定がありました。私共の電気工業業界にとりましては、工事の受注環境にどのような影響があるのが最も懸念されたところでした。増税前の駆け込み受注の影響もあると考えられますが、アベノミクス効果と併せて受注状況は好転しているとの声を多く聞きます。今後は、東日本大震災の復興、オリンピック開催のための新施設の建設、公共事業投資による産業の活性化等、大いに期待するところです。

反面、リーマンショック以来、生き残りをかけて進めてきた企業のスリム化の問題があります。工事受注が好転する一方で、電気工事士と施工管理技術者の不足が深刻な問題となつている状況です。地域経済の回復と再生には「若い力」が必要となります。「ものづくり」の原点に立ち返り今一度、若者と真摯に向き合う必要があると考えます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都丸正樹

昨年は、円安・株高で大企業は最大の利益計上が見込まれるなど、中央では景気回復感が見られますが、地方での景気回復は道半ばであります。

今後はトリクルダウン・セオリーがどのように生かされてくるのかは、国の経済政策・大企業の動向が大きく影響し、地方経済の回復進度は変化するものと考えております。

このような時代は、知恵と工夫によつては大きなビジネスチャンスでもあります。当組合施設「前橋問屋センター会館」は、皆様のビジネス空間として幅広いご利用が可能となっておりますので、ご利用をお待ちするとともに、今年一年が皆様にとりまして最良の年になりますよう「祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



群馬県再生資源

事業協同組合連合会
会長 上岡克己

あけましておめでとございませう。政府は、いろいろな景気対策を推進しておりますが、我々業界には、アベノミクスの「恩恵」を受けるまでには至っていないように思われます。又、どの様な環境、状況にあつても、ひとつしつかりと足元をみつめ、初心を忘れずに雑草の様に生き抜く力をつけることが大切と考えております。「自

他共栄」社会に貢献できる事業を展開して行くことが重要と思っております。今年こそは、我々、再生資源業界にも明るい日差しが差し込むことを期待しております。

群馬県鐵構業協同組合

理事長 佐藤良男

新年明けましておめでとございませう。平成25年度鉄骨需要量の予想は、フル稼働の企業が大勢を占めてい

ます。

る現状から、5年ぶりに500万

トン台半ばの水準に達すると思われまふ。建築需要の回復基調に震災復興や東京五輪、インフラ整備などが加わり、今後は更に加速する事態を迎えようとしています。

このような状況の下、群馬県鐵構業協同組合は「積算ソフト説明会」、「鋼構造物の設計に於ける溶接上の留意点の講習会」、「エンドタブ施工講習会」を実施。また、平成26年3月には「国土交通省大臣認定取得を支援する勉強会」、「第2回工場見学交流会」が予定され、知識と技術の向上に努めていきます。

先行きに仕事量や適正価格改善の期待感があるため、本格的な受注環境の改善に向け、組合員全員が課題に対して積極的に取り組む所存です。

年頭にあたり皆様の御健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今川守

新年あけましておめでとございませう。

います。

さて、アベノミクスによる景気浮揚策の効果から、我が国経済に明るい兆しが見え始めたとはいえ、足下の中小企業においては、未だそれを実感するには程遠い状況にあります。とりわけ、間近に迫つた消費税引上げは、深刻な個人消費の冷え込みを招きかねず、地域中小商業に対する影響は避けられない情勢となっております。

このような中であつて、我々商店街は、単なる商業集積としての役割のみならず、地域の伝統や文化といった「まち」の貴重な財産を次代に引き継ぐべく、懸命な努力を続けているところです。

本年も各地域の個性を活かした多様な活動を展開して参る所存でありまふので、関係各位のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

群馬県造園建設業協同組合

理事長 澤口浩美

新年明けましておめでとございませう。

現在、安倍政権のもとで大胆な

金融政策や財政出動による景気刺激策が講じられておりますが、造園建設業の分野においては、まだその効果が実感されるといった状況にはありません。今後、造園緑

化工事の発注増加が見込まれるところですが、技術力、提案力の一層の向上に努め、専門業者としての役割を着実に果たしていくと

もに、組合員相互の連携と次世代経営者の育成を図り、健全な経営を行うことが必要であると考えております。どうか関係各位におかれましては、昨年同様ご指導、ご

支援の程よろしくお願いいたします。結びに、この1年の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。頭の挨拶といたします。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 高橋 康 男

あけましておめでとございませす。新年を今までと違った気持ちで迎えられたと思います。

政局の不安から、すべての事柄に不信感と疑心暗鬼がともない、業界はついつい冷え切ってしまいました。しかし昨年からここ1年

大きく変化し希望のもてる時がまいました。今思えば、失われた3年余の歳月は悔やまれて仕方ありません。

本年は消費税等の不安材料はありますが、日本経済の全体的底上げを期待し、我々業界まで明るさが浸透してくる希望の年になってほしいと願っております。

景気の上向きは徐々に浸透し夏ごろからは実感として受け取ることができのではないかと、甲午の新年に久しぶりに期待しております。

群馬県不動産事業協同組合

理事長 谷田部 榮 一

新年明けましておめでとございませす。

昨年を顧みますと、本年4月からの消費税増税を意識し、不動産に関する問い合わせは増加しましたが、契約に至らないケースが多く、組合員の経営環境は、依然として厳しい状況が続いています。実際、

当組合の組合員数は減少しており、景気回復が末端まで行き届いていないように思われます。

しかし、一部地域では、地価が下げ止まり始め、住宅着工件数もプラスに転じるなど、明るい兆しが数字になって見えて参りました。

今年は、この動きが早く県内に波及するよう関係団体を通じ要望活動を展開して参ります。結びに、本県経済の発展と皆様

のご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

群馬県美容業生活衛生同業組合

理事長 松本 一郎

—自分自身を戒める—

美容業界でも各業種に後れをとりにながらも、「自主衛生管理」の取り組みをスタートさせます。消費者に対する衛生面における安心の提供は、技術サービスの提供と同様に重要なものであり、目先の技術ばかりが優先され、衛生面をおろそかにすることがあつてはなりません。お客様の笑顔は、総合的な満足の家徴です。

景気の動向も上昇傾向にあると言われております。この気流に乗るためには、しっかりとした準備が必要です。基本、足元、原点。

ここを見つめ直す作業の繰り返しを怠ると、つかめる機運を逃すこととなります。

各業界の皆様方から、先行し実施している衛生管理のご指導を頂き、充実する1年といたしたいと思っております。今年も宜しくお願い致します。

群馬県石油協同組合

理事長 小野里 克 巳

新年あけましておめでとございませす。

政権交代して1年が経過し、従来あつた閉塞感が打ち破られ、世の中に明るさが見えてきた様に感じられます。しかしながら我々の業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。需要は減少見込みであり、給油所数もピーク時の半数以下にまで減少しています。そして、昨年は消防法の改正により老朽化した地下タンクの改修も義務化され、費用負担できずに廃業した店も多く、減少に拍車がかかりました。

東日本大震災時の経験から災害時における地域のライフラインを

支える給油所の確保は大変重要な位置づけとなっております。

組合員全員が事業を継続できる様、今年も指導していきたいと思っております。

群馬県板金工業組合

理事長 桑原 洋

昨年の日本経済は、長期化したデフレからの脱却や経済再生への足掛かりを目指す年となるべく、新政権による経済対策により、円安・株価上昇の効果が表れ、インフレへと舵をきり始めたかと思う矢先、17年ぶりの大型消費増税が可決成立となり、一転、景気や消費心理を冷やしかねないことが予想されます。

職人の魅力は、昔から鍛錬した技術に対する高い収入。それがいまは技術を身につけても屋外作業の上、低収入で人が集まらない、技術労働者の確保も大きな課題となっております。

また、専門工事業界にとって、今年も、登録基幹技能者制度の更新時期を迎えます、この制度の行方も技能労働者の差別化を図り得

るのか、今年の関心事となっております。

しかし、どのような局面においても、技術と意欲さえこなわれなければ打開策は必ずあります。組合の役割のひとつとして、板金業者の力を結集させることにより、様々な難局を越えていける年とする所存です。

群馬県葬祭霊柩事業協同組合

理事長 林 直 男

毎年、中央会から「念頭所感の寄稿のお願い」をいただき、私たち葬儀業界だつて立派に組合活動しているのだから世間に知らせるには原稿を書くしかないと思いは得意な文章を書いています。

2035年頃までは死亡率が上がり将来まで有望な商売と言われ何年も経ちました。現状としては粗利のよい花輪等は出なくなつてしまい、生花に変わり粗利は落ちているのに、少しでも受注を増やそうと葬祭ホールは増え続け固定費が増える中、密葬、家族葬と社会常識の変化（不景気）により引出物や供え物も出なくなりました。

私たち葬祭業者も生き残りをはけた時代に入り勝ち組、負け組と分かれ出したようです。大手は出店を続け、個人商店はじわじわと追い込まれているのが現状に思えます。

そんな中でも私たち組合は、他県組合に比べると勉強会や研修会を活発に行っていると思えます。将来の見えにくい時代ですが新年に向かい志新たに業界発展のための努力を惜しまないつもりです。

県下各市町村に対して、災害協定等（大規模災害時の遺体搬送業務）を結ぶ活動を今まで以上に推し進める年としたいと思っております。

群馬県書店商業組合

理事長 竹内 靖 博

デフレ経済から脱却したとは言え、出版業界の不況はまだまだ回復の兆しはありません。組合員の減少傾向は全国的に下降の一途を辿り、我が県組合においても未だ歯止めが効きません。

最盛期に比べて書店の数は半減しました。若者の本離れ、電子書

籍の参入等も我々業界にとっては大きなマイナスポイントになっておりますが、書籍は知識、教養、夢、文化の宝庫です。特に、人間にとって最も大切な創造性を高めるための最も身近にある道具なのです。

今年もまだまだ業界にとっては消費税増税も予定されており厳しい年となるでしょうが、読書推進活動にさらに力を入れ、若者から高齢者に至るまで本の魅力を再認識していただき、出版業界の更なる発展のため努力を致す覚悟でありますので、どうぞよろしくお願い致します。

